

NISHIWAKI



西脇ライオンズクラブ
国際協会335-D 地区3R-2Z

LIONS CLUB NEWS

会長テーマ — 協 勵 —



Vol.53 No.1 2014.7.22発行



<会長あいさつ>



会長 岡本和明

皆さん、こんにちは。本日も例会出席ありがとうございます。

本年度伝統ある西脇LCの会長に就任し、大変緊張しております。

誕生以来50年を超えていたるクラブは、現在、国際協会335-D地区では、65クラブ中18クラブです。当クラブはこの1クラブに該当いたします。

私が当クラブに入会した1994年10月当時、当クラブの会員数は100名近くおられ、そのため社会奉仕活動にいたしましても人と財政に余裕があり、如何なる活動もできていたと思いますし、先輩ライオンに付いておれば何か地域に役立っていたという時代でした。ある意味自分が何かを考えなくても地域のために何かが出来ていた時代だったかもしれません。

平成24年12月に誕生した安倍内閣が「財政出動」「金融緩和」「成長戦略」の三本の矢（通称：アベノミクス）で長期デフレを脱却し、名目経済成長率3%を目指しました。

その結果、平成26年3月の春闘では、大手企業が皆ベースアップを受入れ、経済全体が成長しているような報道がなされ、次に中小企業にもベースアップを望むという報道がなされました。都市部では景気回復と言っていますが、本当に今、地域経済は活性化しているのでしょうか。平成26年4月に消費税が5%から8%に増税されたことで、当地域でも4月下旬～5月上旬までは特需の名残があったかも知れませんが、現状はどうでしょうか。

先日新聞に掲載されていましたが、今東京では特に社員20名以下の中小企業が人材不足で事業展開できず、経営悪化しているケースが増加しているそうです。理由は、大手企業がベースアップした事で、優秀な人員がそちらに流れ、こうした中小企業に必要な基準を満たす人員がいなくなっているためだそうです。今朝の新聞では、こうした大手企業でさえ新卒者の内定辞退の対策におわれているようです。本当にそこに必要な人はいないのでしょうか。

この地域経済でも同様の事が起こってはいませんでしょうか。

本年度は、クラブメンバーの減少とこうした地域経済の現状を見つめながら、西脇ライオンズクラブに如何なる奉仕活動が必要かを検討し、ライオンズクラブのモットーである「We Serve」（われわれは奉仕する）を引き継いで行きたいと考えております。

しかしながら、西脇LCが行う奉仕活動に対してクラブメンバー全員が常に「このままよいのか」という思いを抱いていなければなりません。

「われわれは奉仕する、その奉仕は誰に、あるいは何に向けて行われるのか。」「その奉仕の光はどこに照らすべきか。」という議論を

西脇LCアクティビティスローガン —— 次世代に引き継がれる社会奉仕を ——

We Serve

行いながら、西脇LCの社会奉仕活動を、地域住民の皆様にこれまで以上に認識していただくためにも、マンネリ化した社会奉仕活動では慈善団体と認識されても仕方がないため、継続的事業や活動であっても一旦事業を終了する決断も必要と考え、同時に新しい事業や活動を見出す必要もあると考えております。

本年度はクラブメンバーの皆様と「コミュニケーション」を持ちながら、クラブ運営に取り組んで行きたいという思いから、会長テーマを「協働」とさせていただきました。

そして、アクティビティスローガンを「次世代に引き継がれる社会奉仕を」とさせていただきました。

より良き社会奉仕活動を行うためには、一人でも多くの会員増強が必要ですし、地域社会の方々に理解いただき、次世代を担う若者たちに「We Serve」の精神を理解していただくと同時に、我がクラブも時代の変化に応じて環境を整備していく必要があると考えます。

55周年、60周年に向けての検討を指導力育成委員会にお願いをし、女性会員、家族会員に関する内規の見直し検討を会員・会則委員会にお願いしております。

このような人と財で非常に厳しい新年度のスタートの中、本例会では大変うれしい事に1名の新会員の入会式を行う事になっております。

どうかこの1年、時代の変化に対応した次世代に引き継いで行ける社会奉仕活動ができますようクラブメンバーの皆様にはご指導ご鞭撻をお願い申し上げ会長挨拶並びにクラブ運営方針の発表とさせていただきます。



第一副会長 L 宮 崎 春 貴

今年度、会長L岡本のもと第一副会長を拝命いたしました。この一年間は皆様に勉強の機会を与えていただいたとの感謝のおもいを強く持って務めさせていただきます。現在、会員数は50名近くに減少しておりますが、知恵を出せば出来る社会奉仕は幾らでもあると思います。地域や他の団体等、私たちクラブが巻き込んで有意義な新しい奉仕活動を考える時だと思います。

また、会長テーマ「協働」のもと、次世代に引き継がれる社会奉仕を進めていけばおのずから、新入会員も増えてくるのではないでしょうか。何卒クラブメンバー皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。



第二副会長 L 岩 本 幸 久

2014年度、伝統ある西脇ライオンズクラブの第二副会長と言う大役を仰せつかり身が引き締まる思いでございます。わたくし自身そのような器ではありませんが、皆様の協力を得て、私なりに精一杯、頑張っていく所存ですので、この一年間、皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

今年度の会長テーマは「協働」です。一人の力で何もできませんがクラブメンバーが共通の目的とコミュニケーションを持ち、共に協力し活動が行えるよう、微力ながら頑張りたいと思っております。

第二副会長の職務は、会長の補佐は言うまでもなく、計画大会委員会とPR委員会の二つです。幸いにも担当委員会には、ベテランの理事、何事においても一生懸命にやっていただける委員長が就任されていますので、安心してお任せするつもりです。嬉しいことに、今回新しいメンバーも入会されましたのでクラブメンバーと共に、協力しあって、地域社会に貢献できるよう頑張っていく所存です。

メンバー各位のご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げまして、挨拶といたします。



第三副会長 L 田 中 功

この度、西脇ライオンズクラブ第三副会長を拝命いたしました。入会して丸5年、勉強不足で何も分からない駆け出しで不安が一杯です。会長、幹事のご指導のもと、三事業委員会の委員長、理事をはじめ委員会の皆様のご鞭撻、ご協力を仰ぎながらアクティビティスローガンにあります「次世代に引き継がれる社会奉仕」を目指して、力不足ではありますが遂行していくたいと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。

新年度スタートと新会員入会式 *

L 村岡 栄 紀



このたび、ご承認をいただき、西脇ライオンズクラブに入会させて頂きました村岡栄紀です。お声をかけて頂いた時は、まさに青天の霹靂で、身に余る光榮であると同時に、私のような未熟者に勤まるだろうか、という不安な思いでいっぱいでしたが、新会員予定者説明会にて、メンバーの皆様の熱心かつ真摯な活動状況を聞かせて頂き、心が熱くなる想いがし、「自分の出来る限りやってみよう!」と決意を新たにしました。今は、伝統ある西脇ライオンズクラブのメンバーになることができ、嬉しい気持ちと同時に、大きな責任感、使命感を感じております。いたらない点も多々あるかとは思いますが「We Serve」の精神で、地域に貢献できるよう、全力で頑張って参る所存ですので、諸先輩方におかれましては、今後ともご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。